

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、別掲の項目におきまして、定期的な見直しにともない検査内容の一部を変更させて頂きたくご案内いたします。

誠に勝手ではございますが、弊社事情をご賢察のうえご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

変更項目および変更内容

※ 詳細につきましては、裏面の内容をご参照願います。

変更期日

※ 平成 24 年 10 月 1 日（月）受託分より変更

### 保健科学グループ



株式  
会社 **保健科学研究所**

本社／ 横浜市保土ヶ谷区神戸町 106 TEL 045-333-1661  
仙台支社／ 仙台市宮城野区扇町 1-3-5 TEL 022-236-9345  
中部支社／ 名古屋市西区則武新町 2-20-17 TEL 052-582-3201  
大阪支社／ 豊中市原田中 1-2-3 TEL 06-6843-5622  
福岡支社／ 福岡市博多区山王 2-14-34 TEL 092-452-0851

新潟臨床検査センター

保健科学東日本

日本ノーバメディカル研究所

いかがく

組織科学研究所

ケーアイエー細胞病理研究所

カスタムメディカル研究所

遠州予防医学研究所

日本厚生団衛生科学研究所

湘南医化学検査センター

小田原衛検

相模医研

東部メディカルセンター

平成24年10月1日(月)受託分より変更

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	検査案内書掲載ページ
7146	ロタウイルス抗原	項目名称	ロタウイルス抗原定性	ロタウイルス抗原	委託検査から内部検査への変更です。	89
		検査方法	イムノクロマト法	EIA法		
		所要日数	2～3日	4～10日		
		検査場所	保健科学研究所 第2ラボラトリー (*ア)	エスアールエル (*4)		
2411	【出血・凝固検査】 PIVKA-II	項目名称	PIVKA-II【凝固】	PIVKA-II	現行試薬の販売中止に伴い、新試薬にて内部検査に変更します。尚、基準値については、1μg/mL未満のまま変更はありません。	95
		検体必要量	0.4 mL (クエン酸血漿)	0.3 mL (クエン酸血漿)		
		検査方法	CLEIA法	ラテックス凝集法		
		所要日数	2～4日	4～8日		
		報告表現	整数	整数(倍数表現)		
		報告上限	9以上 μg/mL	(設定なし) μg/mL		
		検査場所	保健科学研究所	三菱化学メディエンス (*1)		

▼ 現法と新法の比較

[ 7146:ロタウイルス抗原定性 ]

n = 10		現法	
		陽性	陰性
新法	陽性	5	0
	陰性	0	5

全体一致率：100.0%  
(社内検討資料)

[ 2411:PIVKA-II【凝固】 ]

n = 49		現法	
		陽性	陰性
新法	陽性	29	1
	陰性	0	19

全体一致率：98.0%  
(社内検討資料)

※ ビタミンK欠乏症判定基準の1μg/mL未満を陰性、1μg/mL以上を陽性として表記しております。

平成24年10月1日(月)受託分より変更

項目 コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	検査案内書 掲載ページ
1175	セルロプラスミン	検査場所	エスアールエル (*4)	三菱化学メディエンス (*1)	検査場所のみの 変更です。 使用する試薬等 も含めて同一で す。	1
1389	ミオグロビン《尿》					2
5124	エタノール					17
5884	副甲状腺ホルモン関連蛋白Intact (PTHrP-Intact)					28
4715	GAT (癌関連ガラクトース転移酵素)					45
4627	抗セントロメア抗体〔EIA法〕					61
5944	抗IA-2抗体					64
5535	TSAb (TSH刺激性レセプター抗体)					65
4381	抗腎糸球体基底膜抗体 (GBMA)					66
4240	抗アセチルコリンレセプター抗体 (結合抗体)					
4711	抗カルジオリピン-β <sub>2</sub> -グリコプロ テイン1複合体抗体 (抗CL-β <sub>2</sub> -GPI抗体)					
4714	抗カルジオリピン抗体IgG					69
4045	C1q結合免疫複合体					
7061	パラインフルエンザ1型〔HI法〕					
7062	パラインフルエンザ2型〔HI法〕					82
7063	パラインフルエンザ3型〔HI法〕					
5069	コプロポルフィリン定性					107
2119	線維素分解産物 (尿中FDP)					108
5357	尿中IV型コラーゲン					109

## 新規受託項目

項目コード	検査項目	検体必要量	容器保存方法	検査方法	基準値	所要日数	実施料判断料
5976	尿中肺炎球菌莢膜抗原定性	尿 1.0mL	C-4 凍結	イムノクロマト法	(-)	2~3日	210 免疫※1
7790	ノロウイルス抗原定性	糞便 0.5g	イ 凍結	イムノクロマト法	(-)	2~3日	150 免疫※2
7957	ノロウイルス抗原[EIA]	糞便 0.5g	イ 凍結	EIA法	(-)	3~6日	未収載

※1 肺炎球菌莢膜抗原定性(尿)は、免疫クロマト法により実施した場合に限り算定できる。

※2 ノロウイルス抗原定性は、以下のいずれかに該当する患者について、当該ウイルス感染症が疑われる場合に算定する。

ア 3歳未満の患者

イ 65歳以上の患者

ウ 悪性腫瘍の診断が確定している患者

エ 臓器移植後の患者

オ 抗悪性腫瘍剤、免疫抑制剤、又は免疫抑制効果のある薬剤を投与中の患者

### ▼ 検査方法参考文献

ロタウイルス抗原定性 : 原三千丸: 日本小児科学会雑誌106(6): 766~767, 2002.

【出血・凝固検査】PIVKA-II : 草野正芳, 他: 医療と検査機器・試薬, 35(1): 87~92, 2012.